

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0357

(注)本稿は 2015 年 9 月 30 日から 10 月 14 日まで 7 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2015.10.15

前田 高行

中東・北アフリカ(MENA)諸国の軍事費ランキング2015年版

(MENA なんでもランキング・シリーズ その18)

目次	頁
1. 軍事費総額の比較	2
2. 一人当たりの軍事費	3
3. 軍事費の GDP 比率	3
4. 歳出に占める軍事費の比率	4
5. 主要国の軍事費の推移(2010年～2014年)	4
付 世界の武器輸出国と輸入国	
付1. 主要国の武器輸出額(2010年～2014年合計額)	5
付2. 主要国の武器輸入額(2010年～2014年合計額)	6

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら 19 カ国・1 機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民

族の国家が多数を占める国家群と言えます。

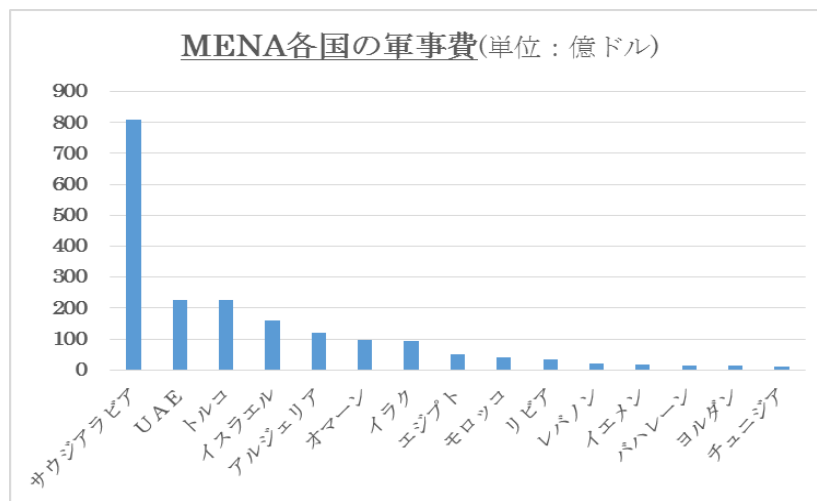
第18回の MENA ランキングは、スウェーデンの「ストックホルム国際平和研究所 (Stockholm International Peace Research Institute, 略称 SIPRI)」のホームページに発表されたデータベースの中から SIPRI Military Expenditure Database 及び SIPRI Arms Transfers Database を取り上げ、2014年の MENA 各国の軍事費、一人当たり国防費、GDP に占める比率及び政府歳出に占める割合を比較する。また2010年から2014年の5年間にわたる各国の武器輸入合計額を比較し、さらに参考までに主要な武器輸出国の輸出額を取り上げる。

* SIPRI ホームページ: <http://www.sipri.org/databases>

なお MENA のうちイラン、クウェイト、カタール、シリア及びパレスチナ自治政府の4か国1機関はデータが無いため比較対象国の数は15カ国である。

(圧倒的なサウジアラビア、一国で全体の4割強)

1. 軍事費総額の比較



MENA15カ国の軍事費の総額は1,928億ドルである。最も多いのはサウジアラビアの808億ドルであり、同国だけで全体の4割強を占めている。同国の軍事費は世界でもトップクラスにあり、米国、中国、ロシアに次ぐ世界4位であり日本(594億ドル、世界6位)よりも多い。サウジアラビアに次いで国防費が多いのは

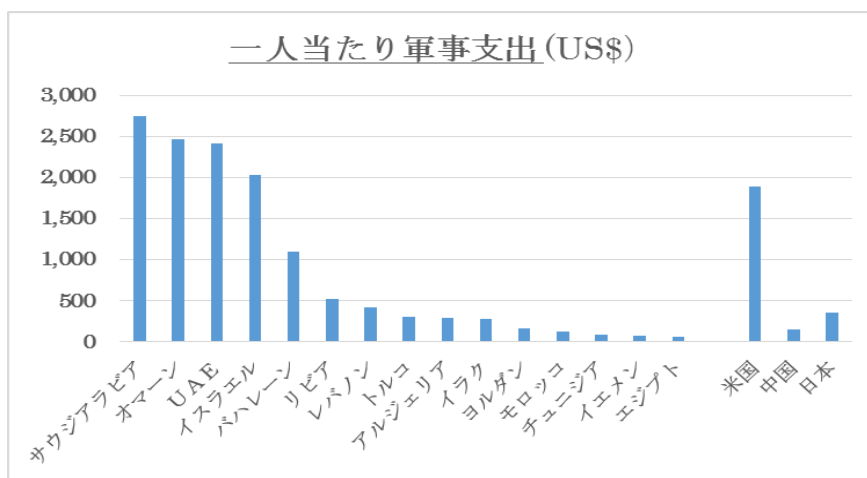
UAE(228億ドル)、トルコ(226億ドル)であるが、トップのサウジアラビアの4分の1強にすぎない。4位イスラエル(159億ドル)、5位アルジェリア(119億ドル)までの5か国が国防費100億ドル以上の国である。上位5カ国の軍事費は全体の8割に達する。MENA は一部の国の国防費が極めて多いことが特徴である。

第6位オマーン及び第7位イラクは90億ドル台であるが、第8位のエジプト以下は50億ドル以下にとどまっている。イエメン、バハレーン、ヨルダンは10億ドル台であり、サウジアラビアの70~80分の1、イスラエル、トルコの10分の1に満たない金額である。

世界各国の軍事費を比べると世界一は米国であり、同国の軍事費は6,099億ドルで実にサウジアラビアの8倍、UAE、トルコの30倍近くである。また中国は米国に次いで多い2,164億ドルであり、日本の約5倍、サウジアラビアの2.7倍となる。日本は世界6位の594億ドルであるが、サウジアラビアの軍事費は日本の1.8倍である。

(GCC3か国とイスラエルが米国を上回り世界1～4位を独占！)

2. 一人当たりの軍事費



MENA各国の軍事支出を一人当たりで見ると、最も高いのがサウジアラビアの2,747ドルであり、これに続いてオマーン(2,476ドル)、UAE(2,421ドル)、イスラエル(2,040ドル)と4か国が一人当たり軍事費2,000ドル台で並んでいる。これら4カ

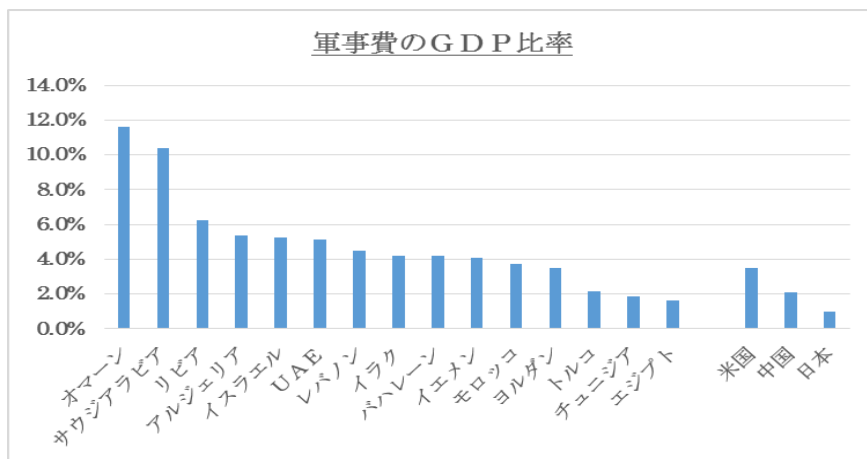
国は世界でも1位から4位を占めており、中東湾岸産油国とイスラエルは世界的に突出している。

これら4か国に次いで世界で5番目に大きいのが米国であり、同国の一人当たり軍事費は1,891ドルである。MENAで上記4か国に続くのはバーレーンの1,103ドルであるが上位4か国の2分の1以下である。そして第6位のレバニアが524ドル、第7位レバノン以下は500ドル未満であり、サウジアラビア、オマーン、UAEの5分の1以下である。MENAの軍事大国と言われるトルコ及びエジプトの一人当たり軍事費はそれぞれ298ドル及び59ドルであり、エジプトの場合は上位3か国の40分の1以下にとどまっている。

因みに日本の一人当たり軍事費は360ドル、中国のそれは155ドルであり、日本はレバノン、トルコ並み、中国はヨルダン並みの金額である。

(オマーンとサウジアラビアは GDP の10%以上！)

3. 軍事費の GDP 比率



各国の GDP に占める軍事費の比率を見ると、MENA 諸国の中ではオマーンとサウジアラビアがそれぞれ11.6%、10.4%と際立って高い二桁の比率である。これら2か国に続くのがレバニア6.2%であり、アルジェリア、

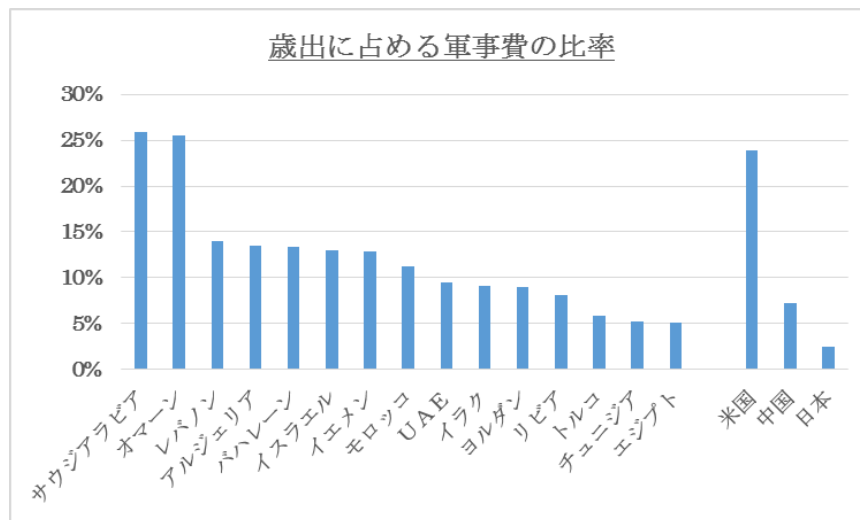
イスラエル、UAE が5%台で並び、レバノン、イラク、バーレーン、イエメンの4か国が4%台である。

地域の大国であるトルコとエジプトはそれぞれ2.2%及び1.6%とかなり低い。なお本稿冒頭で述べた通り、軍事大国であるイラン、シリア並びにGCC産油国のクウェイト及びカタールは統計が示されていないが、いずれも軍事費のGDP比率はかなり高いものと推測される。

これら MENA 諸国を米国、中国あるいは日本と比較すると、米国の GDP 比率は3.5%でヨルダンと同等であり、中国(2.1%)はトルコと同じ水準である。これに対して日本の軍事費の GDP 比率は1%であり、MENA のいずれの国よりも低い。

(サウジアラビア、オマーンでは歳出の4分の1が軍事費！)

4. 歳出に占める軍事費の比率



前項ではサウジアラビアおよびオマーンの軍事費の GDP 比率が10%を超え、他の MENA 諸国に比べ突出して高いことを示したが、歳出に占める軍事費の比率でも両国は他の MENA 諸国に比べて極めて高く26%に達している。実に歳出の4分の1が軍事費なのである。

米国の比率はこれら両国とほぼ同じ24%であるが、米国の場合は連邦予算に対する比率であり、両国とは意味合いが異なるものと考えられる。

サウジアラビア、オマーンに次いで MENA 諸国には比率の高い国が多く、レバノン、アルジェリア(各14%)、パレスチナ、イスラエル、イエメン(各13%)及びモロッコ(11%)の各国が10%を超えている。その他 UAE、イラクは9%、トルコ6%、エジプト5%である。因みに日本は3%であり、MENA のいずれの国よりも歳出に占める軍事費の比率が小さい。また中国は7%でありリビア(8%)より低く、トルコより高い水準である。

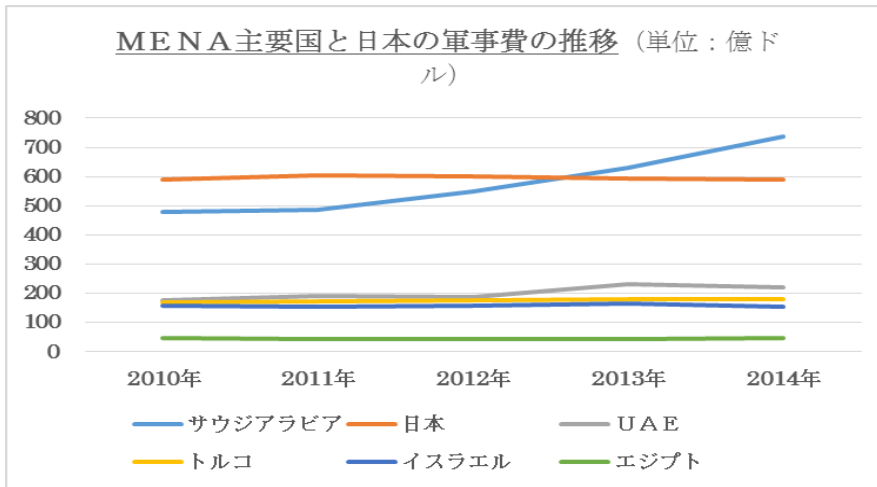
(急激に膨らむサウジアラビアの軍事費！)

5. 主要国の軍事費の推移(2010年～2014年)

中東の主要5か国(サウジアラビア、UAE、トルコ、イスラエル及びエジプト)に日本を加えた6か国の2010年から2014年までの軍事費の推移を比較する。なおここで扱う軍事費は2011年を基準とする実質価格であり、第1項で触れた MENA 各国の軍事費の名目価格とは数値が異なっている。

2010年の名目軍事費はサウジアラビアが479億ドルで日本(590億ドル)よりは少ないが、他の4か国に比べると圧倒的に多い。UAE、トルコ、イスラエルの3か国はそれぞれ177億ドル、170億ドル、158億ドルで横並びであるが、サウジアラビアに比べるとほぼ3分の1にとどまっている。エジ

プトの軍事費はこれら各国に比べ非常に少なく50億ドル弱であり、サウジアラビアの10分の1、UAE、トルコ、イスラエルの4分の1に過ぎない。



2011年以降、日本、トルコ、イスラエル、エジプトはほぼ横ばい状態を続けているが、サウジアラビアとUAEは軍事費が増加しており、特にサウジアラビアは2011年の485億ドルが2013年には日本を上回る629億ドルとなり、昨年はいよいよ700億ドルを突

破して737億ドルに達している。これは2010年の1.5倍であり、年間の平均増加率は10.8%の二桁成長である。またUAEもサウジアラビアほどではないが2014年の軍事費は2010年の1.2倍の219億ドルとなっている。

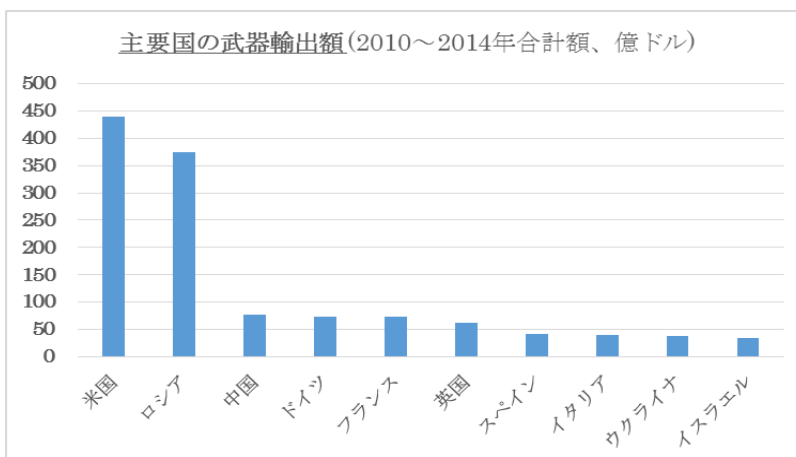
付 世界の武器輸出国と輸入国

ここでは世界の武器の輸出入額を取り上げる。各国の輸出額あるいは輸入額は年度によって大きく変動するので、2010年から2014年までの合計額について比較検討を行う。

(世界の二大武器輸出国—米国とロシア！)

付1. 主要国の武器輸出額(2010年～2014年合計額)

2010年から2014年までの5か年間の武器輸出額は世界全体で1,400億ドル強であった。国別では米国とロシアが際立って多く、米国の5年間の輸出総額は439億ドル、ロシアは374億ドルであった。世界全体に占める割合はそれぞれ31%及び27%であり、2か国を合わせると世界の武器輸出額の6割近くを占めている。

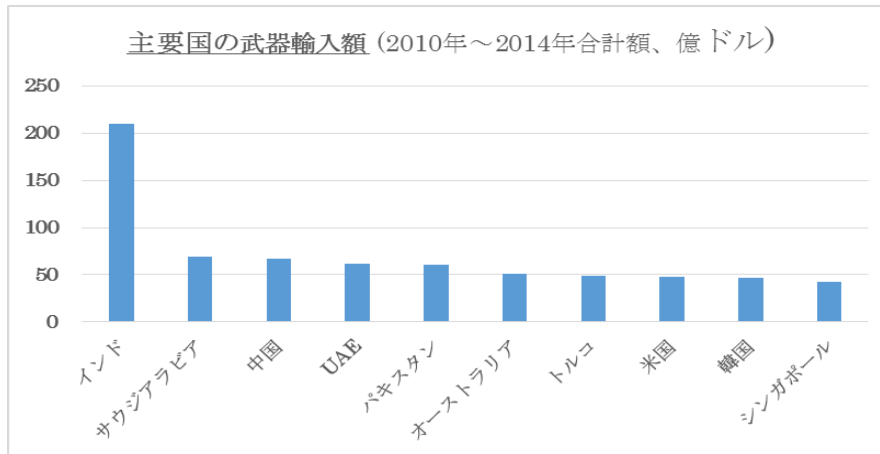


米国、ロシアに次いで輸出額が多いのは中国の76億ドルであるが、米国あるいはロシアの5乃至6分の1にとどまっている。なお次項(輸入額)に触れるとおり中国は輸入額でも世界第3位であり、輸出とほぼ同額の武器を輸入しており武器貿易大国である。

中国に次ぐ武器輸出国としてドイツ(74億ドル)、フランス(73億ドル)、英国(62億ドル)、スペイン(41億ドル)、イタリア(40億ドル)の西ヨーロッパ諸国が肩を並べている。またウクライナ(38億ドル)及びイスラエル(33億ドル)は世界9位及び10位の武器輸出国である。

(武器輸入額世界一はインド、日本は世界22位！)

付2. 主要国の武器輸入額(2010年～2014年合計額)



2010年から2014年までの5か年間の武器輸入額は世界全体で1,400億ドルであった。国別ではインドが最も多く同国の輸入額は210億ドル、世界全体の15%を占めている。輸入国第2位はサウジアラビア

の70億ドルでインドのほぼ3分の1である。

第3位は中国の67億ドルであるが、前項でも述べた通り同国は輸出額でも世界第3位であり、武器貿易が活発なことを示している。中国に次いで UAE 及びパキスタンも輸入額60億ドル台で並んでおり、第6位の輸入国はオーストラリア(51億ドル)である。7位から10位はトルコ、米国、韓国及びシンガポールでいずれも輸入額は40億ドル台である。因みに日本の武器輸入額は18億ドルで世界22位である。日本の場合、軍事費(458億ドル、第1項参照)に比べ輸入額の割合が比較的小さいのは武器の国産化が進んでいるためと考えられる。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行

〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601

Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642

E-mail; maedat@r6.dion.ne.jp